

あおき保険だより

INSURANCE OFFICE AOKI

1日あたり約106件の火災が発生

空気が乾燥する季節です
出火原因の1位「たばこ」

空気が乾燥し、暖房など火気を使う機会が増えるこれからの季節、火の取り扱いには十分気をつけてください。

総務省消防庁の統計によると、令和5年に全国で発生した火災の件数は、前年より2,358件増え3万8,672件でした。1日あたり約106件、約13分に1件の割合で火災が発生したことになります。火災による総死者数は1,228人、負傷者数は5,766人です。最近の傾向は、高齢化の影響もあって、火災で犠牲になるお年寄りの割合が高まっていることです。住宅火災だけでみると、高齢者（65歳以上）の死者数は7割を超えています。

一方、出火原因で最も多い

のが「たばこ」、次いで「た」「たき火」「こんろ」の順です。

「放火」は令和3年以降、3年連続の4位で、7番目に多い「放火の疑い」と合わせると火災全体の18.3%を占めます。放火は人が寝静まった夜間から明け方の時間帯に多発していますから「家のまわりに燃えやすいものを置かない」「空き家、倉庫、車庫などはカギをかけておく」「照明器具を設置し、暗がりをつくらない」などを実践するとともに、ご近所と協力して「放火をさせない環境づくり」に取り組みしましょう。

また、平成23年6月に全ての住宅で火災警報器の設置が義務づけられましたが、その設置率は全国で84.3%（総務省消防庁、令和6年6月1日時点）にとどまっています。住宅火



災で亡くなった人の半数以上は「逃げ遅れ」が原因で命を落としていますから、まだ設置されていないご家庭は、早急に対応してください。

誰もが火災の恐ろしさを知っているはずです。冒頭の標語のように、日ごろのちょっとした心がけが防火への第一歩となります。

保険の事ならなんでもご相談ください！！

生命保険の見直しもやっております。

TEL0538-37-3373